

2019.10.11 第56回北海道学校体育研究大会釧路大会

体育の授業づくりで大切にしたいこと

桐蔭横浜大学 スポーツ健康政策学部
松本栞之祐

本日のメニュー

体育の授業づくりで大切にしたいこと

1. 目標・内容・方法・評価
2. 授業づくりで押さえてほしいこと

1 目標・内容・方法・評価 (1) 大切にしたい「目標・成果」

- ① 指導案の中に示された内容
目標を達成できる教材か？
(単元・本時で、本当に達成できる目標か?)
- ② 指導案の中に示された方法
目標が達成できる方法・指導か？
- ③ 目標の達成度合いの確認(評価)
目標はどの程度達成されたのか？
- ④ 逆からみる単元・本時の計画
一貫性が意識されているか？

1. 目標・内容・方法・評価

(1) 大切にしたい「目標・成果」

- ① 指導案の中に示された教材
目標を達成できる教材か？
(単元・本時で、本当に達成できる目標か?)
- ・教材が先の授業＝「スポーツ種目」を教える
- ・発達段階、これまでの指導をふまえた指導

1. 目標・内容・方法・評価

(1) 大切にしたい「目標・成果」

② 指導案の中に示された方法・指導か？
目標が達成できる方法・指導か？

ボール運動を例にしてみると……

- ・ボール 大きさ・数・硬さ・弾み具合・転がり 等
- ・ゴール 大きさ・数・位置・ゾーン・得点方法 等
- ・コート 広さ・幅・グリッド・角度(向き)、二重ライン 等
- ・人数 最少数人、バリエーションを考えると3人 5名でどう？
- ・ルール 最小限のルール、目標達成に向けた工夫
- ・役割 全員に役割を 特にゲームに出していない時に

1. 目標・内容・方法・評価

(1) 大切にしたい「目標・成果」

③ 目標の達成度合いの確認(評価)
目標はどの程度達成されたのか？

- ・いつ評価するか
診断的、形成的、総括的
- ・だれが評価するか
自己評価、他者評価、相互評価
- ・どのように評価するか
絶対的評価、相対評価、個人内評価(横断的・縦断的)。

1. 目標・内容・方法・評価

(1) 大切にしたい「目標・成果」

③ 目標の達成度合いの確認(評価)
目標はどの程度達成されたのか？

- ・毎時、単元、1年間、6年間(3年間)
指導案、年間計画、カリキュラム
- ・基本的に ポトムアツツの度合い
- ・「評価」と「評定」の区別を明確に
- ・PDCAサイクルに生かす

1. 目標・内容・方法・評価

(1) 大切にしたい「目標・成果」

④ 逆からみる単元・本時の計画

一貫性が意識されているか？
目標はどの程度達成されたのか？

ボールゲームで考えてみると……

1時間の流れの中で

- I 個人技能(単元を通じた継続的な取り組み)
- II ゲームでの共通課題
- III 確認のゲーム

「単元の流れとして」

1時間目



最後の授業



1. 目標・内容・方法・評価

(2) 期待する学習成果の例

小学校3年生の感想文を整理した結果……

- ①夢中になって取り組む子どもの姿 態度
- ②伸びを自覚できる子どもの姿 技能
- ③学び合い、認め合う子どもの姿 学び方
- ④学習内容・方法の理解を深めていける
子どもの姿 知識・理解 + 表現

1. 目標・内容・方法・評価

(2) 期待する学習成果の例

- ①夢中になって取り組む子どもの姿 態度
新要領：学びに向かう力

- ・関連教材の考え方
- ・素材の教材化
- ・教材や指導の適切さ

1. 目標・内容・方法・評価

(2) 期待する学習成果の例

- ②伸びを自覚できる子どもの姿 知識・技能

- ・時間と場の保証
- ・具体的に実現可能(と思える)目標
- ・わかりやすい運動のポイント
- ・興味をそそる運動、運動のやり方

1. 目標・内容・方法・評価

(2) 期待する学習成果の例

- ③学び合い、認め合う子どもの姿 学び方
「かかわり」という表現も同様(思考力・判断力・表現力)

- よい授業の条件
- ・授業の勢い
- ・授業の雰囲気

1. 目標・内容・方法・評価

(2) 期待する学習成果の例

④ 学習内容・方法の理解を深めていける

子どもの姿 知識・理解

・充実した言語活動とは…… 表現

時間？ 回数？ そもそも体育では……

・日常的な授業の中で

意見の発表とその評価

ポイントの共有化

記録を残すこと・コメントを加えること

2. 授業づくりで押さえないこと

(1) 運動学習時間の確保

(2) 意欲的な取り組み

(3) 教師の関わり

(4) ボトムアップの重要性

(5) 運動の質と量

(6) 効果的なマネジメント

(7) 組み合わせ単元の活用

2. 授業づくりで押さえないこと

(1) 運動学習時間の確保

① 授業場面の分類

学習指導 教師の説明・演示 等

マネジメント 準備や片付け、移動 等

認知学習 話し合い、カード記入 等

運動学習 準備運動、練習、ゲーム 等

2. 授業づくりで押さえないこと

(1) 運動学習時間の確保

② 運動学習時間と活動量

運動している時間の確保

個々が運動している時間

持久走が一番いい！？

1. 授業づくりで押さえないこと
(2) 意欲的な取り組み

① 向上と達成の欲求
 「楽しさ」は授業の目標になるか!?

できる・かかわる
 わかる
 ↓
 たのしむ

2. 授業づくりで押さえないこと
(2) 意欲的な取り組み

② 連続した達成感を味わう
 具体的な課題の設定
 自分でも(参加)できそうだ!!
 次の目標がある!
 スモールステップ

2. 授業づくりで押さえないこと
 (3) 教師の関わり

◇ 頻度数と学習評価
 関わり回数が多ければいい?

◇ 頻度数と児童・生徒の意識

2. 授業づくりで押さえないこと
 (3) 教師の関わり

◆ 学習集団の育成
 個人種目・・集団的評価
 集団種目・・個人の能力
 知識・理解、技能

2. 授業づくりで押さえないこと
(3) 教師の関わり

積極的に！

肯定的に！

具体的に！

2. 授業づくりで押さえないこと
(4) ボトムアップの重要性

② 具体例としての投能力

投げる動き = 打つ動き = 蹴る動き

「投げる」と「捕る」はセット

事例：小学校2年生・ソフトボールの授業（八戸市）
投能力の向上 下位児のシュート
的当てゲーム 得点の工夫

2. 授業づくりで押さえないこと
(4) ボトムアップの重要性

① 下位者の引き上げ



実情 — 「体力」2極化の拡大

「体商嫌い同盟」

1位 2位 3位 4位 5位 6位

伸びの保障

2. 授業づくりで押さえないこと
(4) ボトムアップの重要性

③ 具体例としての逆上がり

逆上がり = 逆さ + 後方回転 + 鉄棒上

◇指導の順序性

・後方への回転 マット？鉄棒？

・後ろ回り 基礎になる動き・感覚は？

ゆりかご アップテナ（背支持側立）

・補助での逆上がり 10秒間に3～4回

2. 授業づくりで押さえないこと

(5) 授業における運動の質と量

量(時間)の確保
質の向上



結果としての体力の向上

2. 授業づくりで押さえないこと

(6) 効果的なマネジメント①

主眼: 「スムーズに」「効率よく」
ねらいは → 引き締まった授業
運動時間の確保

具体的には……

集め方・並ばせ方、話の聞かせ方
用屏の準備・片付け
教師の説明の仕方

2. 授業づくりで押さえないこと

(6) 効果的なマネジメント②

主眼: 「声かけ」「役割」
ねらいは → 授業の雰囲気
学習成果

具体的には……

教師から児童への声かけ
児童相互の声かけ
評価のあり方

2. 授業づくりで押さえないこと

(7) 組み合わせ単元の活用

①「組み合わせ単元・帯単元」の有効性

- ◆長い期間の取り組み
- ◆基礎感覚・動きの定着
- ◆向上・達成による自己有能感

2. 授業づくりで押さえたこと

(7) 組み合わせ単元の活用

②「組み合わせ単元・帯単元」の活用

◆発達段階による違い

◆領域・種目による違い

◆何よりも教師の力量の形成を！

28

ご静聴 有り難うございました。

END

30